

各 位

会 社 名 株 式 会 社 タ カ チ ホ
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 久 保 田 知 幸
 (大証 J A S D A Q ・ コ ー ド : 8225)
 問 合 せ 先 執 行 役 員 経 営 企 画 部 長 渡 辺 三 千 也
 電 話 0 2 6 - 2 2 1 - 6 6 7 7

平成 23 年 3 月期通期業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 22 年 5 月 14 日に公表しました業績を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

●業績予想の修正について

平成 23 年 3 月期通期業績予想数値の修正 (平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回予想 (A)	13,000	250	190	40	6.39
今回修正 (B)	11,827	89	50	2	0.32
増減額 (B - A)	△1,172	△160	△139	△37	
増減率 (%)	△9.0	△64.1	△73.2	△95.0	
(ご参考) 前年実績 (平成 22 年 3 月期)	12,870	249	187	△837	△133.87

修正の理由

通期の業績につきましては、国内経済は依然として雇用情勢が厳しい状況にあり、個人消費についても大幅な改善は見られず、本格的な景気回復には至りませんでした。

このような環境下、みやげ品卸・小売部門におきましては夏季シーズンの記録的猛暑、年末年始の異常降雪等の影響を受けました。また温浴施設部門におきましては長期化する経済不安感による消費者の生活防衛意識の高まり等の要因から売上は伸び悩み、本格的業績回復には至りませんでした。

このような状況下、平成 23 年 3 月 11 日に東日本大震災が発生し、当社市場がありますこれらの地域で、観光施設及び宿泊施設等で被災された取引先もあり、また、計画停電や放射能問題に起因する影響は大きく、春休みより本格化する観光シーズン開始時期において観光客の減少及び消費マインドの冷え込みにつながり、売上高は計画を下回る見込みとなりました。売上の減少に伴い、営業利益、経常利益、当期純利益とも計画を下回る見込みとなっております。

以上の状況から、当期 (平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日) 業績予想を修正することといたします。

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

●配当予想の修正について

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
前回予想 (平成 22 年 5 月 14 日発表)	—	0.00	—	4.00	4.00
今回修正予想	—	0.00	—	2.00	2.00
当期実績	—	0.00	—		
前期実績 (平成 22 年 3 月期)	—	0.00	—	4.00	4.00

修正の理由

配当については、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要政策と位置づけ、将来の事業展開と内部留保による財務体質の充実等を勘案したうえ、安定的かつ継続的に実施していくことを基本としておりますが、上記の通期業績予想の下方修正を踏まえ、誠に遺憾ながら期末配当金を前回予想の 4 円 00 銭から 2 円減額し、2 円 00 銭とさせていただきます。

以上